

機関番号：37104

研究種目：若手研究 (B)

研究期間：2008～2010

課題番号：20791719

研究課題名 (和文) 早期関節リウマチ患者の心理過程と自己管理行動に関する研究

研究課題名 (英文) Study of Psychological Processes and Self-Management Behavior in Patients Suffering from Early Rheumatoid Arthritis

研究代表者

草場 知子 (KUSABA TOMOKO)

久留米大学・医学部・講師

研究者番号：20791719

研究成果の概要 (和文)：

本研究は、発症から1年以内の早期関節リウマチ (Rheumatoid Arthritis: 以下 RA と略す) 患者が辿る心理過程と自己管理行動に影響を与える要因及び早期 RA 患者に関わる医療従事者の患者指導の現状や認識について分析することにより、早期 RA 患者への効果的な患者指導・教育の方法を見出すことを目的に研究を行った。

本研究において、早期 RA 患者は、生活や予後に対する不安が強く、自己管理の方法がわからず医療従事者に療養方法に関する情報提供を求めていることが明らかになった。さらに、外来看護師を対象とした調査では、早期 RA 患者への指導・教育の必要性を理解していても時間的余裕や指導基準がないこと、他職種との連携が少ないこと等が明らかとなった。今回の調査から、早期 RA 患者への心理支援及び自己管理行動を支援できるような指導・教育方法の確立、研修会の開催の必要性が示唆された。

研究成果の概要 (英文)：

This study was conducted to help identify effective methods of guiding and educating early-stage (one year or less from onset) rheumatoid arthritis (hereafter referred to as RA) sufferers. For this purpose, an analysis was conducted on factors that affect the mental processes and self-management behavior of early-stage RA patients, as well as on the current situation of the guidance given to the patients by healthcare personnel. The awareness of healthcare personnel regarding these issues was also examined.

This study found that early-stage RA patients suffer from intense anxiety over their prognosis and over the way their daily life may be affected. Their anxiety is worsened because they do not understand how to proceed with self-management, and they want healthcare personnel to provide them with instruction as to how they should care for themselves. In addition, a survey of outpatient nurses revealed that, although the nurses were aware of the necessity of providing guidance and education for early-stage RA patients, they do not have time to do much about it. Further, there are no guidelines for patient education, and there is limited collaboration with other types of healthcare providers. The survey results suggest the necessity of establishing guidance and education methods and of holding seminars that are designed to enable healthcare personnel to provide early RA patients with mental support and assistance in practicing self-management.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	1,000,000	300,000	1,300,000
2009年度	900,000	270,000	1,170,000
2010年度	800,000	240,000	1,040,000
総計	2,700,000	810,000	3,510,000

研究分野：医歯薬学

科研費の分科・細目：看護学・臨床看護学

キーワード：早期関節リウマチ、自己管理行動、リハビリテーション

1. 研究開始当初の背景

RA の臨床経過は多様であるが、発症後 2 年以内に関節破壊が最も急速に進行することが報告されている。近年、抗リウマチ薬や生物学的製剤が開発され、発症早期からこれらの薬剤を使用することにより関節破壊を遅延・抑制することが可能となっており、RA の早期診断、早期治療の重要性が強く叫ばれている。しかしながら、早期 RA 患者に対する早期からのリハビリテーションや看護については未だ効果的なアプローチ方法が解明されていないため、薬物療法と同じように早急な対応が必要であると考えられる。

2005 年リウマチ白書によると、患者のリハビリテーションに対する意識は十分でなく、効果的なリハビリテーションが行えていない現状が窺える。また、これまでの研究では、関節破壊による疼痛や機能障害の進行と RA 患者の抑うつなどの神経的症狀および QOL の低下は関連性があることが明らかとなっており、さらに、慢性疾患患者の疾患や障害の受容はその患者の闘病意欲や自己管理行動に影響を及ぼすともいわれている。

これらのことから、RA と診断された患者の心理状態を十分に理解し、患者の疾患や障害の受容過程に応じて適切な支援をしていくことが重要であると考えられる。

2. 研究の目的

本研究は、発症から 1 年以内の早期 RA 患者が辿る心理過程と自己管理行動に影響を与える要因及び早期 RA 患者に関わる医療従事者の患者指導の現状や認識について分析することにより、早期 RA 患者への効果的な患者指導・教育の方法を見出すことが目的である。

3. 研究の方法

【早期 RA 患者の心理過程と自己管理行動に関する調査】

(1)対象

某医療機関（3 施設）のリウマチ科外来に通院している発症 1 年未満の早期 RA 患者 7 名。対象者の選定は各医療機関の主治医に依頼した。

(2)場所

各医療機関の面談室

(3)方法

面接調査と診療録からデータ収集を行った。面接は 1 人あたり 40 分程度で原則 1 回とした。インタビューガイドを作成し、半構成的面接を実施した。

(4)分析方法

面接内容は対象者の承諾を得て IC レコーダに録音し、逐語録を作成した。逐語録の内容をデータとし、質的帰納的に分析した。

【早期 RA 患者に関わる医療従事者の患者指導に関する調査】

早期 RA 患者に対する面接調査の分析結果および先行研究をもとに、外来で RA 患者の看護に携わっている看護師を対象に患者指導・教育の実態及び認識に関する質問紙を作成し、調査を実施した。

(1)対象

全国のリウマチ科標榜のある医療機関（病院・診療所）から無作為に 500 施設を抽出し、そのうち研究への同意が得られた 55 施設の外来看護師計 248 名。

(2)方法

質問紙の配布は、医療機関の責任者（院長または看護師長）に依頼し、回収は記入後、各自で返信用封筒に入れて研究者まで郵送してもらうよう依頼した。

(3)調査内容

・個人属性：年齢、性別、資格、経験年数

- ・職場環境：雇用形態、勤務時間、規模、外来通院患者数など
- ・患者指導・教育の実態：時間、内容（26項目）、方法（25項目）、使用教材、他職種との連携の有無、カンファレンスの有無など
- ・患者教育・指導に対する認識（6項目）
- ・自由記載：早期 RA 患者の看護で困難に思うこと・心がけていること

(4)分析方法

統計処理には、SPSS18.0 for Windows を使用した。外来看護師の経験年数及び病院規模による患者指導の内容・方法についての比較には Mann-Whitney 検定、Kruskal-Wallis 検定を用いた。有意水準は $p < 0.05$ とした。自由記載の分析は、記述された内容の類似性に基づきカテゴリー化を行った。

【早期 RA 患者に対する教育プログラム及び療養パンフレットの作成】

早期 RA 患者に対する面接調査の分析結果及び外来看護師に対する患者指導・教育の実態及び認識に関する調査結果をもとに、早期 RA 患者の教育プログラム及び療養パンフレットの作成に向けて検討する。

4. 研究成果

(1) 早期 RA 患者の心理過程と自己管理行動に関する調査

平均年齢 45.1 ± 10.9 歳、平均罹病期間 8.0 ± 2.7 ヶ月、確定診断から面接調査時までの平均期間 6.7 ± 2.4 カ月であった。対象者全員が Stage I で Class1 が 3 名、Class2 が 4 名であった。

逐語録の内容を質的帰納的に分析した結果、早期 RA 患者の心理状態及び自己管理行動を決定づける要因と阻害する要因、医療従事者に求める内容が抽出された。早期 RA 患者は、発症後から予後や生活に対する不安や恐怖があり、病気の受容ができず葛藤するなど複雑な心理状態を辿ることが明らかとなった。さらに、疼痛緩和や安静、リハビリテーションに関することなど RA の自己管理方法がわからず模索しており医療従事者に対して療養方法に関する情報の提供を求めていることなど患者のニーズが明らかとなった。

これらのことから、発症後間もない早期 RA 患者に対する心理的支援の重要性及び自己管理行動の遂行に向けた支援の必要性が示唆された。

(2) 早期 RA 患者に関わる医療従事者の患者指導に関する調査

回収数 183 名（回収率 73.8%）有効回

答数 170 名（92.9%）。

対象者の内訳：正看護師 139 名（81.8%）、准看護師 31 名（18.2%）。正規職員 135 名（79.4%）、嘱託・パート 35 名（20.6%）。平均従属年数 18.1 ± 8.5 年、現医療機関での平均勤務年数 7.0 ± 6.0 年。外来における 1 日 RA 患者数は 20 人以上 50 人未満が 63 名（37.1%）で最も多く、1 日早期 RA 患者数は 5 人未満（69.4%）が最も多かった。

患者指導・教育を行うための時間的余裕が「ない・あまりない」と解答した者は 149 名（87.6%）で、対象者の約 9 割が「人手不足」「場所不足」があると解答していた。早期 RA 患者用のパンフレットがあると解答した者は 77 名（45.3%）、早期 RA 患者の指導基準やマニュアルがあると解答した者は 18 名（10.6%）で、早期 RA 患者に対する支援マニュアルの作成の必要性が示唆された。

指導内容 26 項目のうち、「薬剤の種類・服薬方法」「副作用」等については半数以上の看護師がほぼしている・いつもしていると解答したが、「リハビリテーションの必要性」「関節保護」「運動療法」の実施は約 3 割であった。また、RA に関する書籍やインターネットを紹介している者は 1 割程度であった。

対象者の 169 名（99.4%）が発症早期からの患者指導の必要性やスタッフの育成の必要性を感じているが、指導・教育に対する自信がないと解答した者が 130 名（76.5%）であり、研修会へ参加を希望する者も 169 名（99.4%）と多かった。

外来における早期 RA 患者の看護について困難に思うこと・心がけていることについて 132 名の自由記述内容を分析した結果、外来看護師は、【時間的余裕がない】【医師との連携】【指導できない葛藤】などの困難さがあることが明らかとなった。しかし、多忙な業務の中でも【患者の話を傾聴する】【精神面の支援】などを心がけていることが明らかとなった。

これらのことから、外来において早期 RA 患者に対し効果的な指導・教育を行うためには、指導基準（マニュアル等）の作成や研修会の開催などにより、外来看護師の指導実践能力の向上を図る必要性などが示唆された。

(3) 早期 RA 患者に対する教育プログラム及び療養パンフレットの作成

早期 RA 患者に対する面接調査の分析結果及び外来看護師に対する患者指導・教育の実態及び認識に関する調査結果をもとに、早期 RA 患者のニーズに応じた療養パンフレットの作成や教育プログラムを作成し、これらの実用化に向けて引き続き検討していきたい。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 0 件)

〔学会発表〕(計 0 件)

〔図書〕(計 0 件)

〔産業財産権〕

○出願状況(計 0 件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

国内外の別：

○取得状況(計 0 件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

草場 知子 (KUSABA TOMOKO)

久留米大学・医学部・講師

研究者番号：20791719

(2) 研究分担者

研究者番号：

(3) 連携研究者

研究者番号：